

③

武士道CHALLENGEルール対比表

		試合時間	出場資格	延長戦	防具	反則技
Jr.トーナメント		1回戦～準決勝 2分×1R 決勝戦 1分30秒×2R	小学生～ 中学生	1分 1回のみ	ヘッドギア ※1 マウスピース ※2 グローブ ※3 ファールカップ アプスメントガード（女子）	・肘打ち ・顔面膝蹴り ・金的攻撃 ・頭突き ・転倒者への加撃
一般トーナメント		1回戦～準決勝 2分×1R 決勝戦 2分×2R	高校生～ 40歳まで	1分30秒 1回のみ	チェストガード（女子） レグガード（布、皮可） ボディープロテクター（任意） ※1. 小学生は面、ヘッドギア 共に可。中学以上はヘッドギア	・投げ、タックル ・関節技 ・背後への攻撃 ・バックハンドブロー
ワンマッチ		2分×1R	幼年～40 歳まで	無し	※2. 面使用時は任意。 ※3. -35kg 8oz `-50kg 12oz `-75kg 14oz `+75kg 16oz	・カーフキック ・噛みつき、目突き ・やめの合図後の攻撃 ・主審、相手に対しての侮辱的または攻撃的な言動 ・粗暴な行為 ・幼年においては顔面パンチ
共通	試合規定	勝敗はKO（1本）、ダウン（技あり）2回によるTKO、または副審3名による判定で決定される				
		1. KO（1本）	・正当な攻撃によりダウンさせ相手選手が3カウント以内に立ち上がれなかった場合 ・Jrにおいては頭部および腹部、下肢部への的確、且つ十分な威力のある蹴り技、又は突き、打ちによる有効打、あるいは連打を与えた場合「技あり」、技あり2回で「一本勝ち」とする。			
		2. TKO	a_1回目のダウン時、主審の3カウント以内に構えをとり且つ真直ぐに歩行できなかった場合。 b_2回のダウンを奪った場合。（スタンディングダウンも含む） c_主審が試合続行不可能と判断した場合。（特に頭部へのダメージ） d_正当な攻撃を受け怪我を負い主審あるいは大会ドクターが試合続行不可能と判断した場合。但し相手の反則攻撃による怪我の場合は反則を犯した選手が敗者となる。 e_試合進行中に選手が試合を放棄した場合、又はセコンドがコート内にタオルを投入した場合。 f_正当な攻撃による鼻からの出血で、2度のドクターチェックを受けた場合。			
		3. 判定	ダウン（技あり）の有無>KO（1本）を狙う姿勢>相手に与えたダメージ>的確な手技 足技を組合わせたコンビネーション>効果的なヒットポイント>アグレッシブさ>ディフェンス（この基準の優先順位は左記の順とし、ポイント制ではなくどちらの選手が有利だったかを示す。その後の試合展開が劣勢と判断された場合にはダウン（技あり）が無効となる場合がある。（技ありの取り逃ぎを禁止する為）			
	敗者復活	トーナメント勝者が試合続行不可能となった場合、負けた選手が出場する権利を得る。				
	有効技	パンチ	ジャブ、ストレート、フック、アッパー、打ち技			
キック		前蹴り、廻し蹴り、横蹴り、後ろ蹴り、後ろ廻し、下肢・ボディーへの膝蹴り等				
掴み		片手、両手で掴んでのボディーへの膝蹴りまたは蹴り足をキャッチしての攻撃は1回のみ可能				